「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりょくする

9月

2026年度

西神吉小だより

加古川市立
西神吉小学校
学校通信
No.91

～ 本当の自由とは ～

突然ですが、みなさんは「自由」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？

「好きな時間に遊びたい」「宿題をやらずに過ごしたい」「ずっとゲームをしていたい」…もしかすると、子どもたちにとっての自由は、そんなワクワクすることかもしれません。

私は担任時代、特に５年生を担当することが多かったのですが、当時、道徳の教科書には「うばわれた自由」というお話がありました。そのお話について子どもたちと一緒に考えたことが、今でも強く心に残っています。

「うばわれた自由」というお話は、本当の自由の意味を忘れた王が、自分勝手に振る舞った結果、最後は自分の自由まで失ってしまうというお話です。わがままなジェラール王子は、「きまりに縛られず、したいことをするのが自由だ」と勘違いし、禁じられた森で動物を撃ちます。それを注意した真面目な森番ガリューに対し、王子は怒って「何をしようと私の自由だ」と言い放ち、ガリューを牢屋に入れてしまいます。やがて王になったジェラールが好き勝手に国を治めたため、国は乱れ、最後は部下に裏切られて自分自身が牢屋に入れられてしまいます。暗い牢屋の中でガリューと再会したジェラールは、「自分勝手な行動は、まわりの人の自由だけでなく、結局は自分の自由をも奪ってしまう」ということにようやく気付くというお話です。わがまま放題に過ごして周りに迷惑をかけてしまった主人公が、自由を奪われて初めて「本当の自由とは何か」に気づくのです。

「自由」は、私たちが人間として生まれながらに持っている大切な権利です。日本の憲法でも、すべての人が幸せに暮らすための「基本的人権」の一つ（自由権）としてしっかり守られています。しかし、自由にはとても大切な「お約束」があります。それは法律などで「公共の福祉」と呼ばれるものです。簡単に言い換えると、「周りの人の幸せや自由を邪魔しないこと」というルールです。

つまり、自分が「自由にしたいから」と言って、誰かを嫌な気持ちにさせたり、みんなで使うルールを破ったりしてしまうと、それはもう「自由」ではなく、ただの「勝手（わがまま）」になってしまうということです。自分が自由を楽しむためには、同じように「相手の自由や大切な気持ち」も守らなければなりません。

「本当の自由」とは、自分を大切にするのと同時に、周りの人への「思いやり」を持つこと。そして、自分の行動に責任を持つということです。

ご家庭でもぜひ、「本当の自由ってどんなことかな？」とお子さんと話題にしてみてください。みんなが笑顔で、自分らしく伸び伸びと過ごせる学校・地域を、子どもたちと一緒に作っていきたいと思います。

西神吉っ子の一コマ













2学期になって初のクラブ活動
雨の日でも工夫して活動しました！！







